



私のいちおし本

「おしっこ ちょっぴり もれたろう」

作・絵 ヨシタケシンスケ



選者：宮富小学校 教頭 田上 裕紀

みんな普通の顔をして生きていてもそれぞれ悩みを抱えていることをおもしろく描いてあります。おしっこがちょっぴりもれてしまう悩み…から始まり、同じ悩みを持っている人はなかなかいない…と気付いたり、外からは見えないみんなの悩みについて気付いたり、となかなか奥の深い絵本です。

人には言えない、人にはわからない、切実なそわそわ感覚は、身に覚えのあることばかりです。

こんなところまで目をつけて見ると、みんないろんな些細なことで苦労しているのがわかってホッとできます。口には出せないお悩みを笑ってしまえる絵本です。

今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

{一般}

針と糸

小川 糸 著

五章で構成されたエッセイ集。ベルリンで旦那さんと愛犬と暮らす著者。その暮らしぶりは凄くゆったりとしていて人生を心から楽しんでいる。二章で語られる母との確執は結構重い。母の死で受け入れた辛い過去…。今を楽しむ著者の素敵なきりかた。「自分をがんじがらめに縛っていたのは自分自身」の言葉が染みる。



{児童}

ぼくのぼしょなのに

刀根 里衣 著

ペンギンのクマー、パパとママのおなかの下がお気に入り。でも、その場所が、生まれてきた卵に奪われてしまいます。そこでクマーは、毛布にくるまって卵に変身しますが…。

ペンギンの親子の、ほのぼのとした愛情を描いた絵本。



その他の新刊

{一般}

どんまい 重松 清 著

みずうみの妻たち上・下

林 真理子 著

{児童} それしかないわけじゃないでしょう

ヨシタケ シンスケ 著

クリスマスだよ、デイビッド!

デイビッド・シャノン 作

【文化センター図書室】

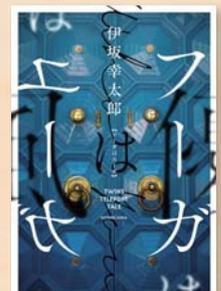
{一般}

フーガはユーガ

伊坂 幸太郎 著

常盤優我は仙台市のファミレスで一人の男に語り出す。双子の弟・風我のこと、決して幸せでなかった子供時代のこと、そして、彼ら兄弟だけの特別な「アレ」のこと。

不思議で切ない長編小説。



{児童}

オリンピックのおばけずかん

斎藤 洋作・宮本 えつよし 絵

4年に一度のオリンピックにも、なんと、おばけが!でもこのお話を読めば…。「バベルとバベラ」「せんしゅむらのムーラムーラ」「ばっきんメダル」など、オリンピックの怖いおばけの話。図書室利用者にとっても人気のシリーズです。



その他の新刊

{一般}

スマホ社会の落とし穴子どもが危ない!

清川 輝基 共著・内海 裕美 共著

到達不能局 (第64回江戸川乱歩賞)

斉藤 詠一 著

{児童}

ゆうたのおばあちゃん

きたやま ようこ 作

神社のどうぶつ図鑑 茂木 貞純 監修